

2021(令和3)年度

札幌圏 **就労移行支援事業所** 調査結果

札幌障がい者就業・生活支援センターたすく

2021年度 就労移行支援事業所調査

■ 調査対象 **札幌圏の就労移行支援事業所 91事業所**

- ・ 2022年 4月 1日現在、札幌圏の指定**就労移行**支援事業所 91事業所に調査協力依頼。
 - ◇ 札幌市内 75事業所 + 従たる 3事業所 (主たる・⇔ 従たる で特徴や取組み内容が異なるため)
 - ◇ 石狩市内 2事業所 ◇ 江別市内 6事業所 ◇ 北広島市内 5事業所

■ 調査内容を一部変更

- ・ 就職者の内 上半期就職者数に対して年度末(半年～1年経過)定着状況を回答もらっていたが、今年度より「**前年度中に就職された全利用者のうち、前年度末時点で職場定着できている人数**」に変更した。

■ 調査結果の利用方法・範囲 (協力依頼文書/次のスライドをご参照ください)

- ① 相談支援対象者に対して、就労移行支援事業所の選択・比較検討を進める際の情報提供資料として活用するとともに、
- ② **障がい者の雇入れ等をご相談頂いた企業担当者へ、募集条件等にマッチしそうな利用者が在籍する社会資源についてご相談があった場合にも活用する 目的を新たに追加し、**
- ③ 全調査結果情報を共有する機関として、札幌市・石狩市・江別市・北広島市内のナカポツ、北海道障害者職業センターに加えて、**小樽後志地域障がい者就業・生活支援センターひろばとも情報共有することとした。** (小樽市,後志管内からも札幌圏の就労移行支援事業所利用希望者があるため)
- ④ また、調査結果をまとめた統計データは、圏域の就労移行支援事業所状況等を発信する際の情報として活用する。(個別事業所が特定される形での情報公開はしない旨を依頼文書に明記)

■ 調査結果情報の共有、発信

- ・ 調査回答に協力頂いた全就労移行支援事業所へ、調査結果をまとめた資料 (このPowerPoint) をファイル添付してMail送信で情報共有。たすくのホームページでも情報公開する。

札幌圏 就労移行支援事業所
管 理 者 様

2022(令和4)年4月11日

札幌障がい者就業・生活支援センター たすく
センター長 松本 健



連携促進等にもつた就労移行支援事業所 状況調査への協力について (お願い)

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は、当センター事業の運営 及び 支援対象者への相談支援における役割分担等に対し、温かいご理解とご支援をいただき心より厚くお礼申し上げます。
さて、当センターで相談支援を進めるなかで、就労移行支援事業所の利用を検討される方に対して、札幌圏の就労移行支援事業所の情報をより具体的に提供するとともに、連携や役割分担の促進を図るため、下記要領で就労支援の状況を把握させて頂きたく存じます。
業務ご繁忙の折誠に恐縮に存じますが、調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。
同封させて頂いた 2021年度活動報告 及び パンフレットにつきましては、当センターとの連携にご活用いただければと存じます。今年度もよろしくお願いたします。

記

1. 調査内容・方法

別紙1 「2021年度 就労移行支援事業所 状況調査票」にご記入の上、同封の返信用封筒にて、2022年 5月13日(金)までにご返信ください。
※エクセル調査票への入力を希望される場合はMailで下記へご連絡下さい。ファイル添付返信させて頂きます。
メールアドレス: task-center@aiwafukusikai.or.jp

調査結果の使用目的を追加

2. 回答頂いた情報の取り扱いについて

- a. 就労移行支援事業所の利用検討や選定相談を進める際、情報提供資料として活用させて頂きます。
- b. 障がい者の雇入れ等を検討される企業担当者より、募集内容にマッチする利用者が在籍しているような社会資源等についてご相談があった場合、情報提供資料として活用させて頂きます。
- c. 調査結果をまとめた統計データは、ホームページや各種研修機会など、地域状況等を説明する資料として公表・活用させていただきます。(個別事業所の情報を公開・使用することはありません)
- d. 上記 a・b の使用目的に限定して、下記9機関と調査結果(就労移行支援事業所様から回答頂いた「2021年度 就労移行支援事業所 状況調査票」全事業所分)を情報共有させていただきます。

- ① 就業・生活応援プラザとねっと
- ② 就業・生活相談室 からびな
- ③ 就業・生活相談室 テラス
- ④ 就業・生活相談室 しんさっぽろ
- ⑤ 石狩障がい者就業・生活支援センター のいける
- ⑥ 就労支援センター めーでる
- ⑦ えべつ障がい者しごと相談室 すてら
- ⑧ 北海道障害者職業センター
- ⑨ 小樽後志地域障がい者就業・生活支援センター ひろば
(小樽・後志在住者より、札幌の就労移行利用にもつた相談も多い為、今年度より⑨情報共有を開始)

≪ 2022年度 スタッフ体制 ≫	
センター長	松本 健一
支援スタッフ	佐々木 裕也 北 丈晴 伊藤 かおる 雄鹿 保絵 脇 紗耶佳

調査結果の情報共有機関を追加

別紙 1 2021年度 就労移行支援事業所 状況調査票

札幌障がい者就業・生活支援センター たすく

- ① 貴法人名 _____ ※ 以下、該当項目に☑を
- ② 貴就労移行事業所名 _____ (提供中 休止中)
- ③ 事業開始年月日 _____ 年 月 日
- ④ 利用可能障がい種別 身体 知的 精神 発達 難病 高次脳
- ⑤ 就労移行定員・現員数 (2022年4月1日現在)

移行定員	4/1 移行 現員	身体	知的	精神	発達	難病	高次脳	計	(人)

⑥ 利用希望者への 情報提供・アピールなど

事業所の特徴、利用検討されてる方に伝えたいことなど
利用にもつた見学・体験・相談など
作業・施設外就労・プログラム内容・工賃など
職場実習や就職活動支援など
職場定着支援の方法や期間など

⑦ 就職支援・職場定着支援の状況

2021年度 (令和03年度) 実績	貴就労移行支援事業所から、一般企業へ就職された方						就労継続支援 A型事業所 への就職者数
	就職者数 (就職A型含まず)	内 職場実習 を経て就職	内 J C・J S 支援あり	内 クローズ ドでの就職	内 在宅就業 での就職	内 2021年度末 職場定着・勤続者	
身体障がい							
知的障がい							
精神障がい							
発達障がい							
難 病							
高次脳機能障がい							
合 計							

J C = 「職場適応援助者(ジョブコーチ)支援事業」、J S = 「札幌市ジョブサポーター」

⑧ 就労定着支援事業 既に指定・実施 今後実施の計画あり 実施の計画なし 未定

2022.4/1 定着支援事業 利用現員	身体	知的	精神	発達	難病	高次脳	計	内 自移行等から	内 他法人移行等から

⑨ 記入ご担当者

ご 職 名 _____ 電話 番号 _____ - _____
 ご 氏 名 _____ FAX 番号 _____ - _____
 Mailアドレス _____

18.9
12.3

調査結果を情報共有している

札幌圏 障がい者就業・生活支援センター(就業・生活相談支援事業)等 一覧

小樽後志地域障がい者就業・生活支援センター **ひろば**

小樽市花園2-6-7 プラムビル3F

Tel **0134-26-6381** (JR小樽駅 徒歩13分)

石狩障がい者就業・生活支援センター **のいける**

石狩市花川南1条4丁目225 かがりビル3F

Tel **0133-76-6767** (バス花川1-5 徒歩1分)

今年度より情報共有先に追加

北海道障がい者職業センター

北区北24条西5丁目1-1 札幌サンプラザ 5F

Tel **011-747-8231** (北24条駅 徒歩約1分)

就業・生活相談室 **からびな**

北区北17条西4丁目2-28

藤井ビル北17条1 301号室

Tel **011-768-7880** (北18条駅 徒歩約1分)

札幌障がい者就業・生活支援センター **たすく**

北区北7条西1丁目1-18 丸増ビル301

Tel **011-728-2000** (札幌駅北口 徒歩約4分)

えべつ障がい者しごと相談室 **すてら**

江別市野幌代々木町15-3

Tel **011-802-7998**

就業・生活相談室 **しんさっぽろ**

厚別区厚別中央3条3丁目3-33

システムコート106号室

Tel **011-887-7075** (ひばりが丘駅 徒歩約9分)

就業・生活相談室 **テラス**

豊平区豊平8条11丁目2-18

Tel **011-598-9394**

(豊平公園駅 徒歩約5分)

就労支援センター **めーでる**

北広島市朝日町2丁目6-9

Tel **011-372-5525**

就業・生活応援プラザ **とねっと**

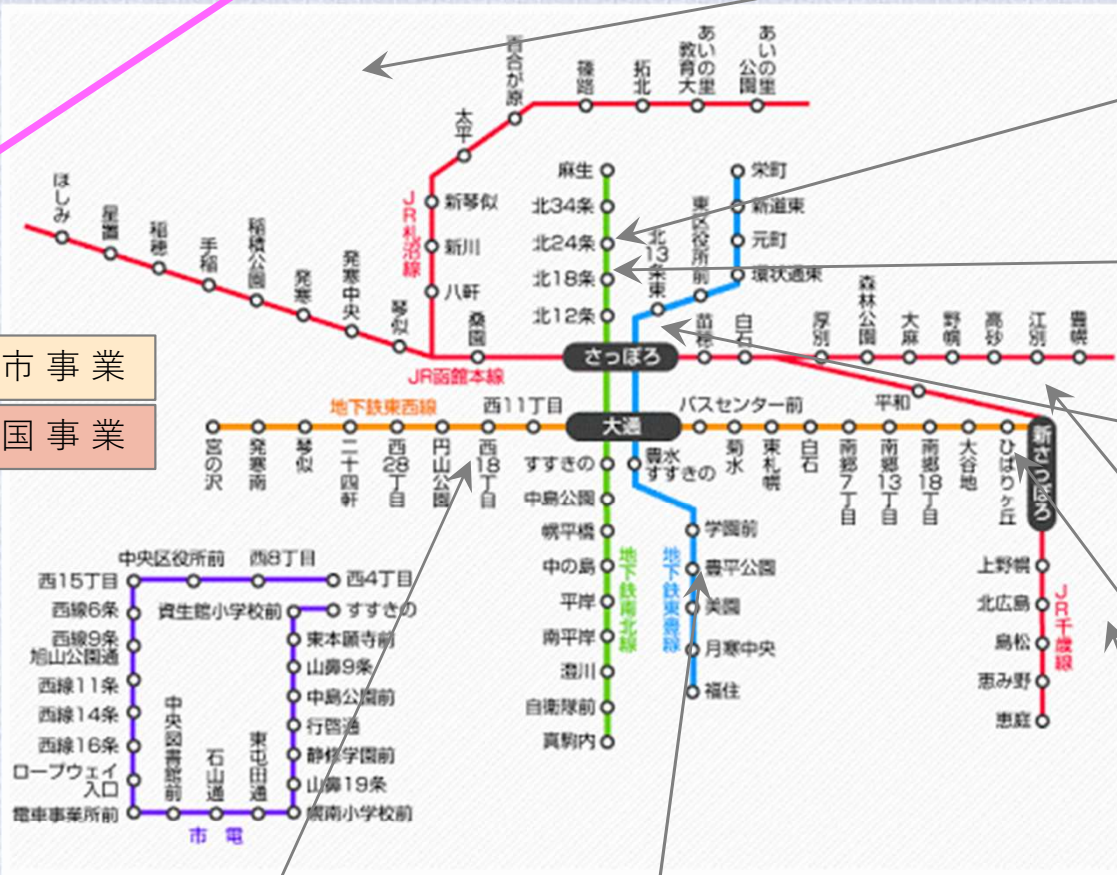
中央区北1条西20丁目1-1 ラントポ -601

Tel **011-640-2777**

(西18丁目駅 徒歩約5分)

市事業

国事業



調査実施スケジュール・回収状況

2022.4/11(月) 調査協力依頼文書・調査票を **91事業所** (内、従たる事業所3ヶ所) へ発送

※発送直後、1事業所が廃止されていることが判明。回答可能事業所は **90** 事業所

5/13(金) 調査回答期限 (52 事業所、回収率 57.8%)

5/18(水)～ 期限までに回答いただけなかった 38事業所へ回答協力を電話で再依頼

5/31(火) 調査票回収を終了

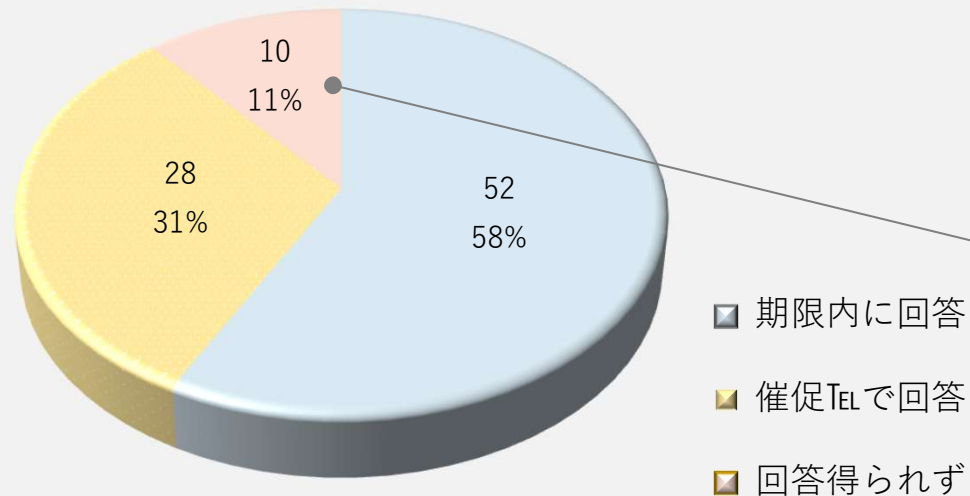
80事業所より回答をいただいた (**回収率 88.8%**)

6/03(金)～ ◆ 札幌圏の9機関 (1つ前のスライド) へ全調査結果を情報共有。
回答頂いた全就労移行状況調査票をコピー・ファイルに綴ってお渡し

◆ 協力いただいた全就労移行支援事業所へお礼・報告のMail送信
調査結果をまとめた資料 (この PowerPointスライドショー) を添付

◆ たすくホームページで公表予定 (<http://www.task-center.jp/>)

調査回収状況

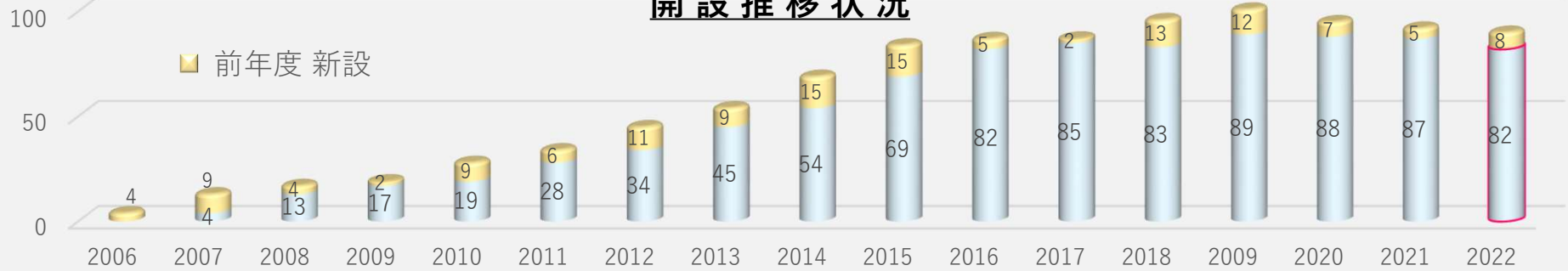


回答を得られなかった **10** 事業所

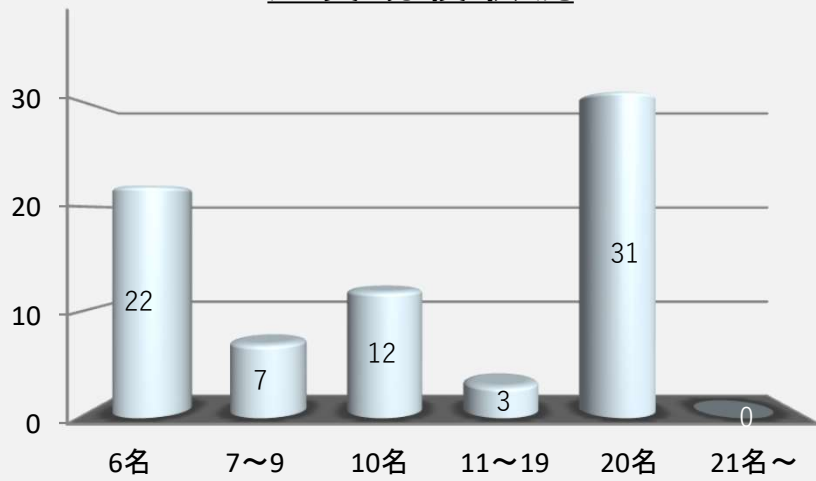
- ・ 休止中のため回答不能 × 4 事業所
- ・ 期日までに回答なし × 4 事業所
- ・ 調査に理解・協力頂けなかった × 2 事業所

札幌圏 就労移行支援事業所 2022年4月1日現在の状況

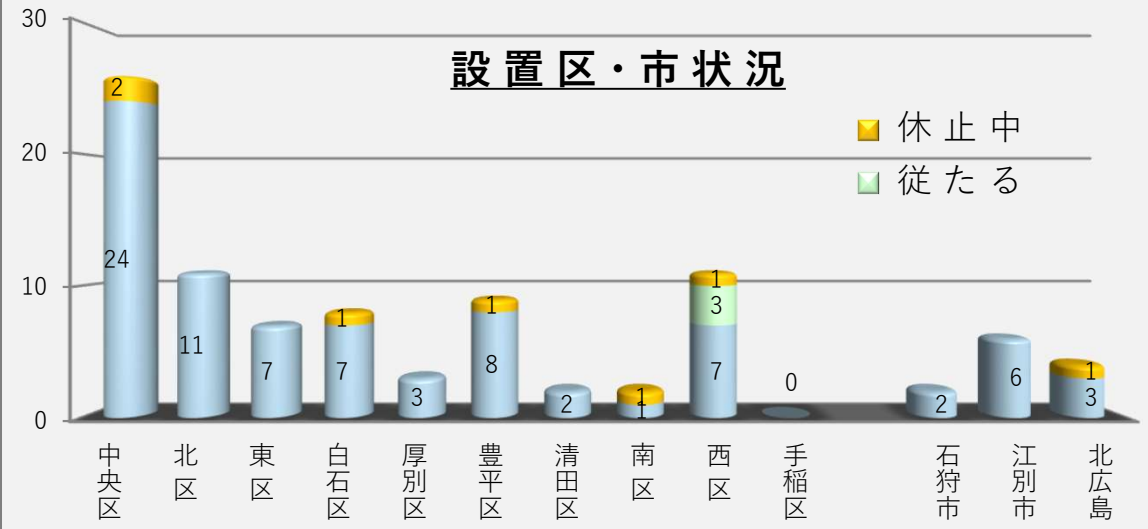
開設推移状況



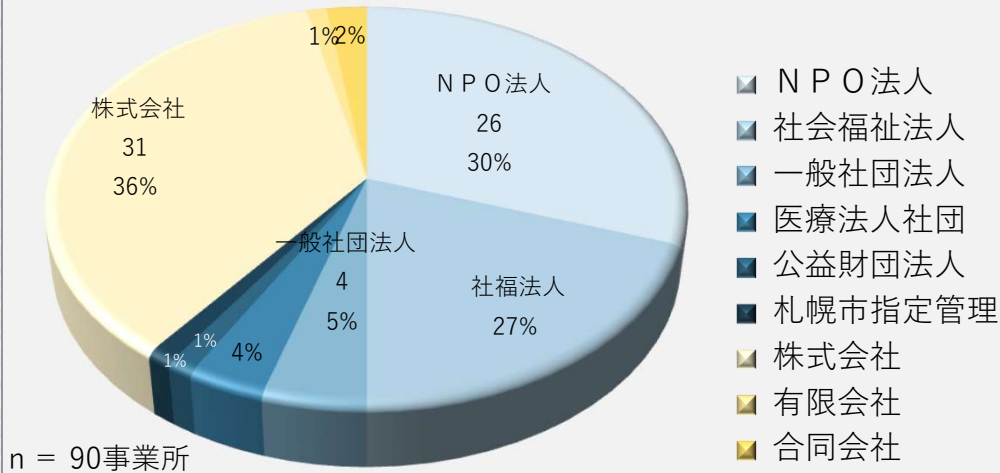
定員規模状況



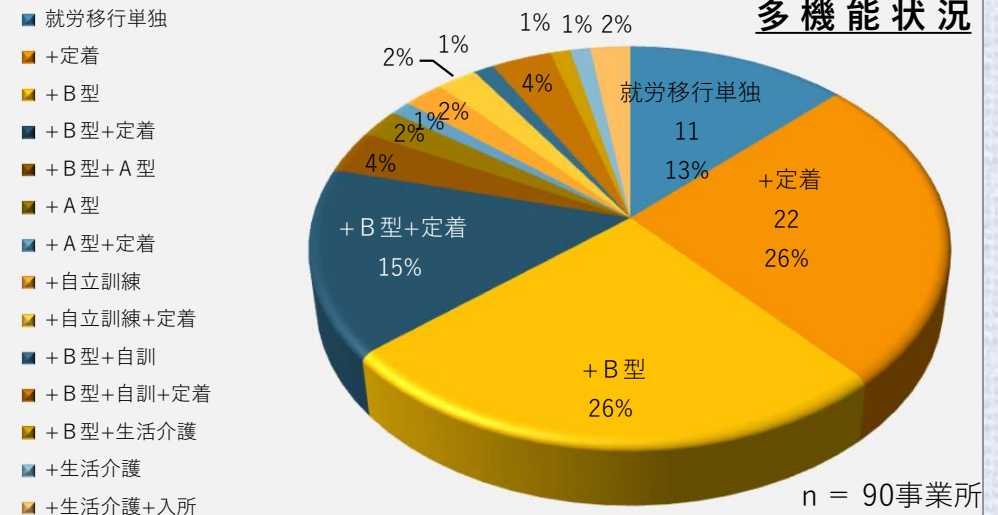
設置区・市状況



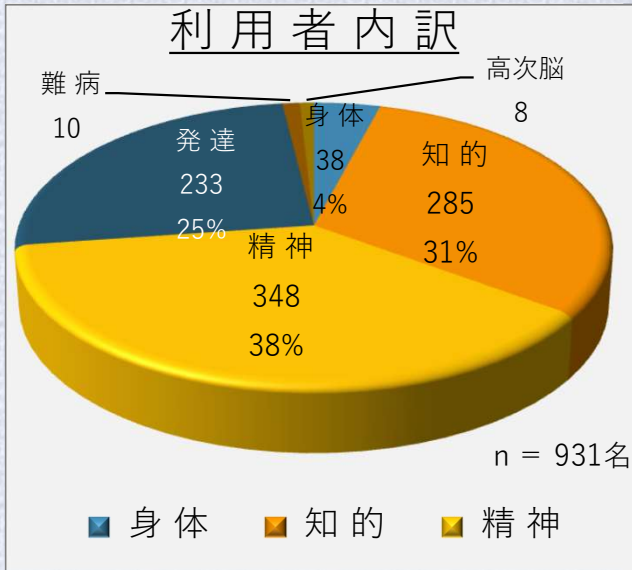
設置法人状況



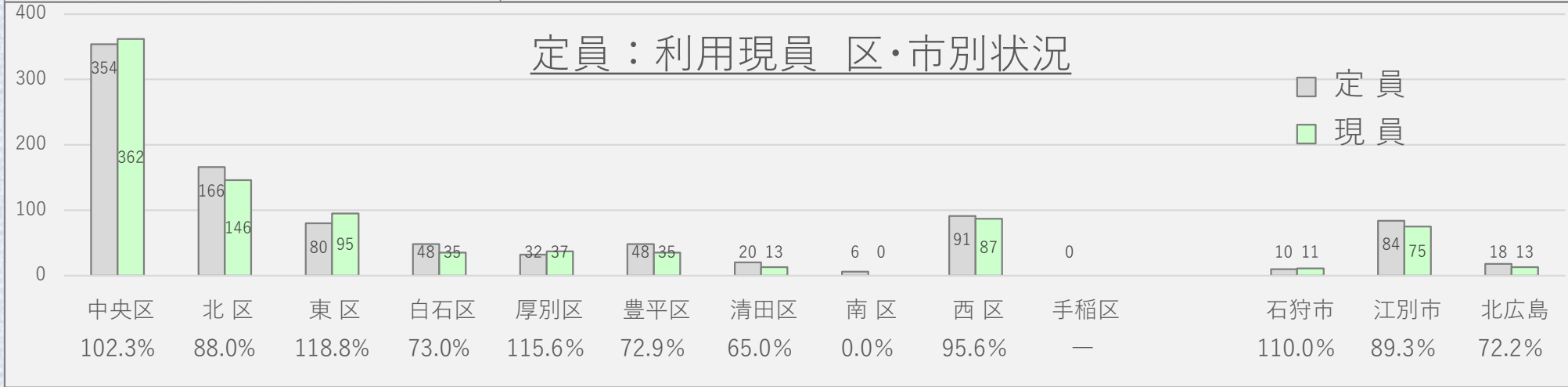
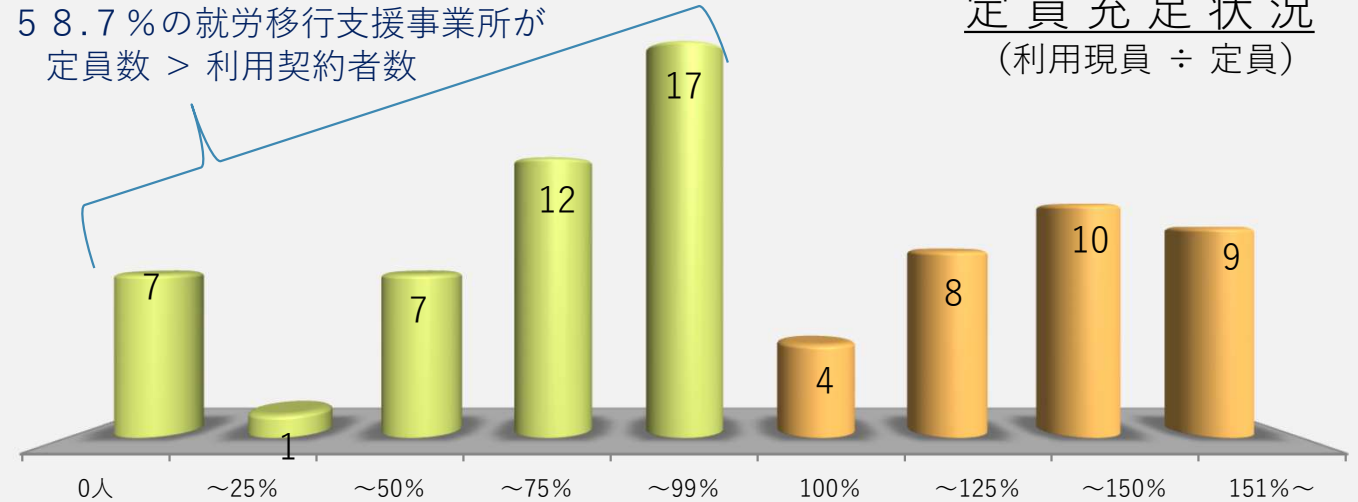
多機能状況



定員・利用現員の状況 (2022年 4月 1日現在)



58.7%の就労移行支援事業所が
定員数 > 利用契約者数

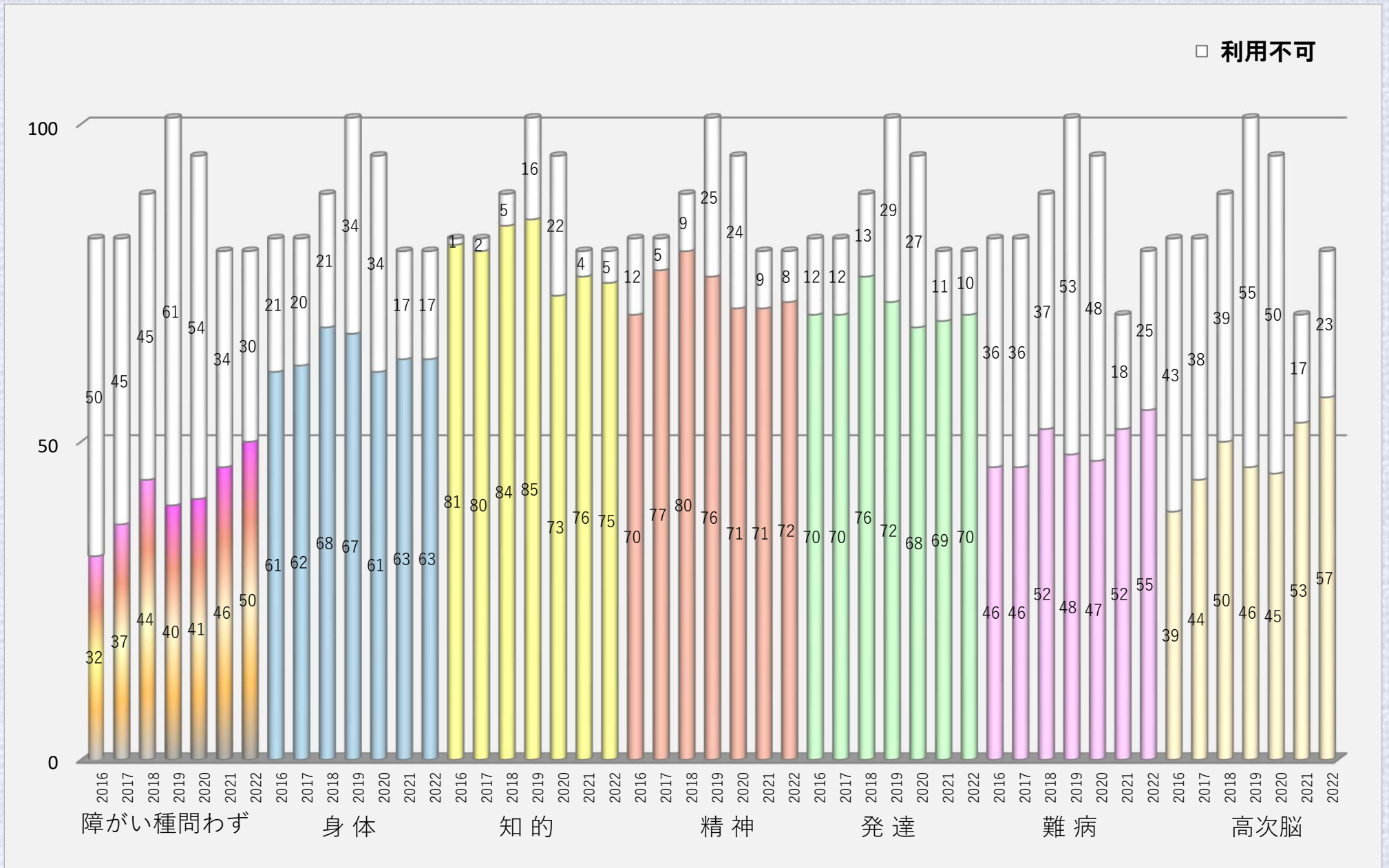


回答を得られた札幌圏の就労移行支援事業所 総定員 967名に対して、利用者は 922名。
札幌圏の定員充足率(通所率は加味していません)は 95.3%、前年度(97.0%) より微減している。

前年度から、手稲区は0事業所・南区は全1事業所が休止中となっており、他区の就労移行支援事業所を選択せざるを得ない状況が続いている。

44事業所で定員を下回る利用者数となってる一方で、利用率200%以上の事業所も複数あり、通所率が低い利用者が多数利用されている事業所と集客に苦心されている事業所の二極化が進んでいると推察される。

利用可能障がい種別の状況

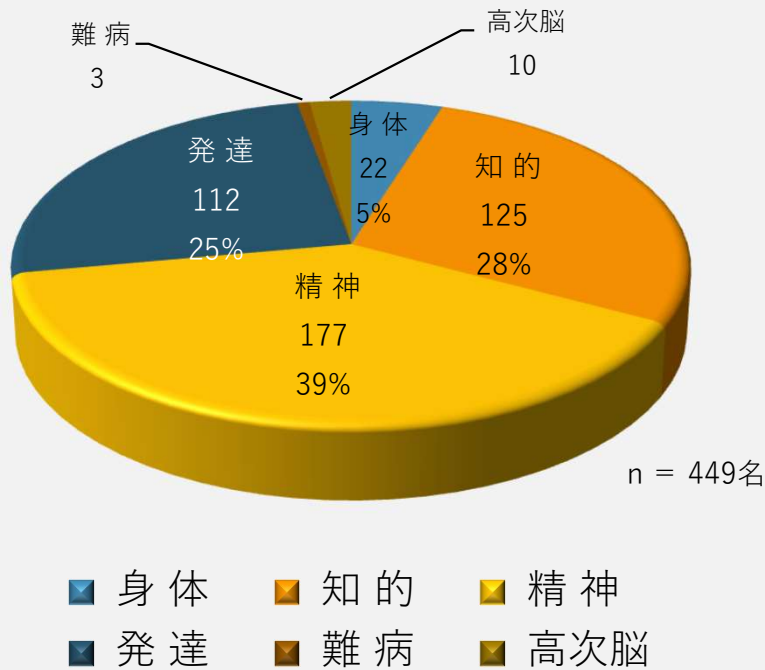


・障がい種別を問わず利用可能な事業所は50事業所で、昨年度より4事業所増（全体の62.5%）

・難病、高次脳機能障がい者も利用相談可能な事業所が、微増している。

2021年度 札幌圏の就労移行支援事業所から一般企業への就職状況

就職者内訳

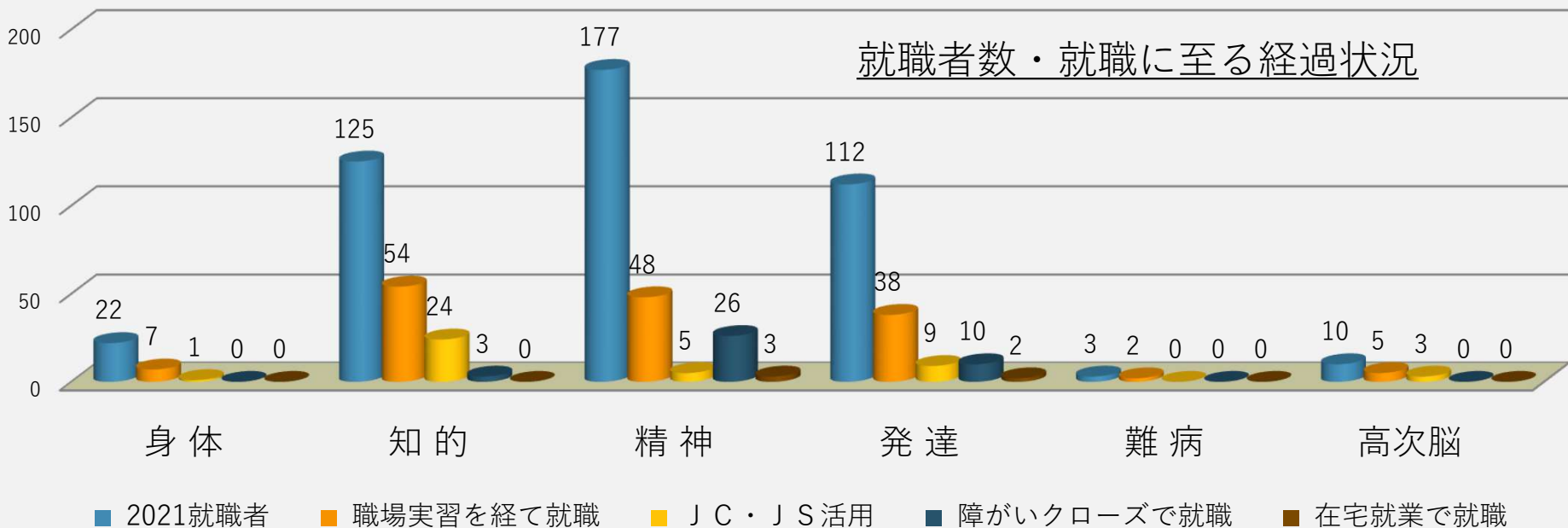


就労移行支援事業所から一般企業に就職された方は 449名。
前年度比 +34名、2年連続で就職者が減少していたが、
3年振りに就職者数が増加。

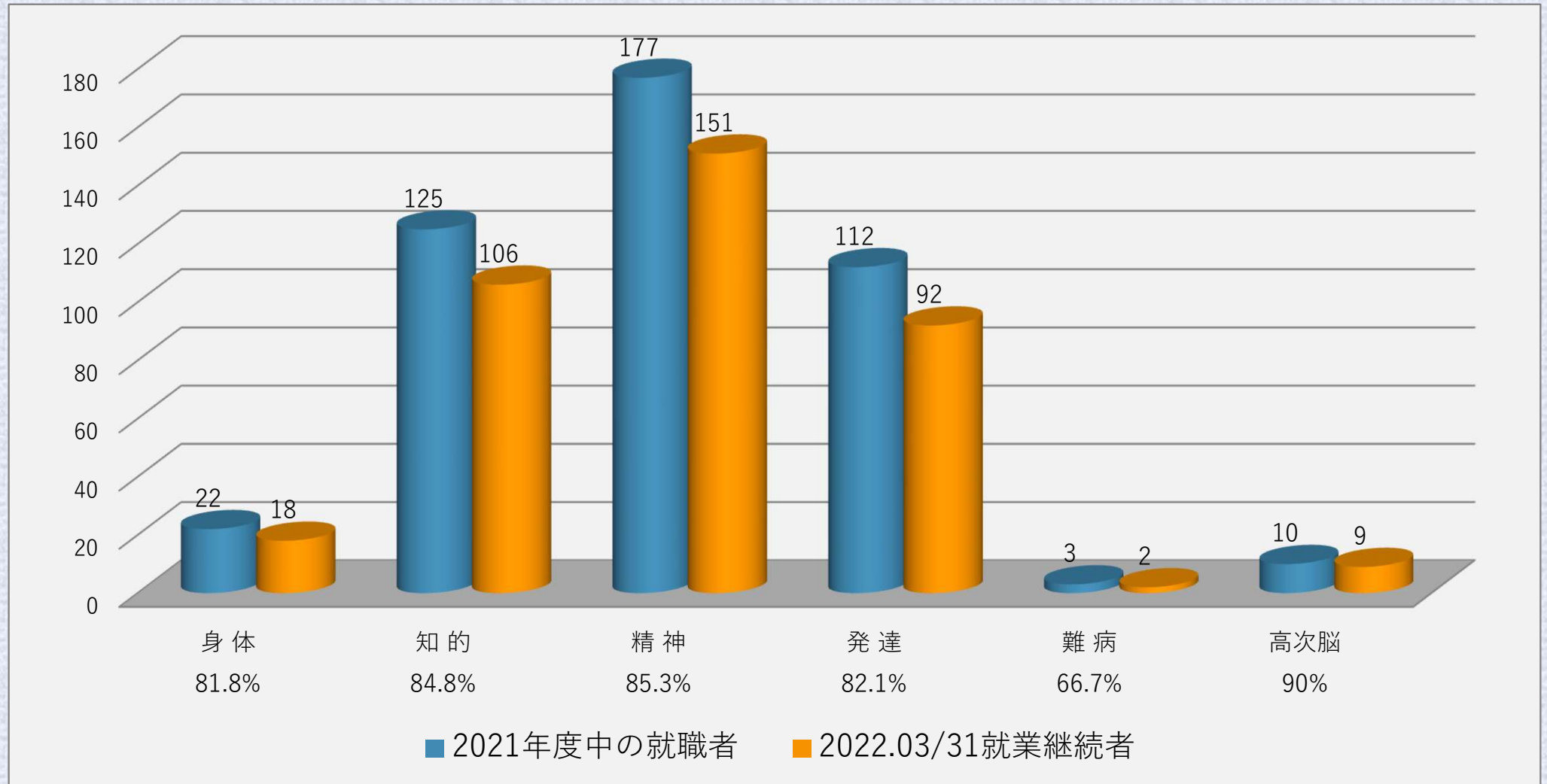
身体 = 23名 → 22名 (前年度比 ▲1名)
知的 = 100名 → 125名 (" +15名)
精神 = 184名 → 177名 (" ▲7名)
発達 = 94名 → 112名 (" +18名)
難病 = 3名 → 3名 (" 増減なし)
高次脳 = 11名 → 10名 (" ▲1名)

- ◇ 職場実習を経て就職 154名 (就職者の 34.3%)
- ◇ ジョブコーチ(JC)活用 41名 (就職者の 9.1%)
- ◇ 札幌市ジョブサポーター(JS)活用 1名 (就職者の 0.2%)
- ◇ 障がいクローズでの就職 39名 (就職者の 8.7%)
- ◇ 在宅就業での就職 5名 (就職者の 1.1%)

就職者数・就職に至る経過状況



2021年度 就職者の年度末 (0~12ヶ月間経過) 時の 職場定着状況



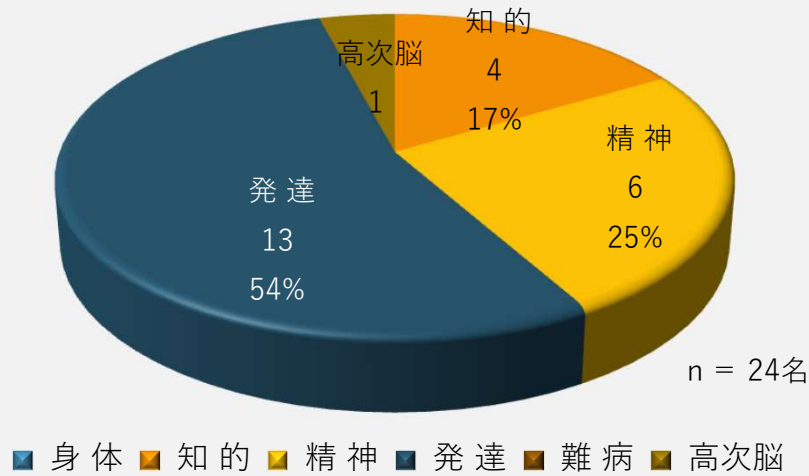
2021年度中に札幌圏就労移行支援事業所から就職された**449名**のうち、2022年3月31日（就職されてから0~12ヶ月経過）時点で職場定着されている方は**378名**。**定着率 84.1%**であった。

・障がい別の職場定着率は、身体 81.8%、知的 84.8%、精神 85.3%、発達 82.1%、難病 66.7%、高次脳 90%
 （ 2020年度 = 身体 70.0%、知的 65.4%、精神 60.8%、発達 57.9%、難病 100%、高次脳 83.3% ）

※ 前年度までの調査では、年度上半期(4/1~9/30)の就職者の年度末時点の定着状況を調査していたが、今年度より、年度中（10/1~3/31も含）の就職者も含めた年度末時点の定着者数を計上頂いたため、前年度より定着率が約20%上昇している。

2021年度 札幌圏の就労移行支援事業所から就労継続支援A型への就職状況

就労継続支援A型への就職内訳

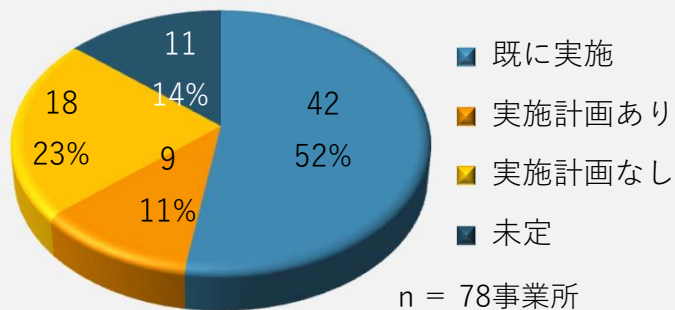


2021年度中に、札幌圏の就労移行支援事業所から**就労継続支援A型事業所へ就職（利用移行）された方は 24名。**

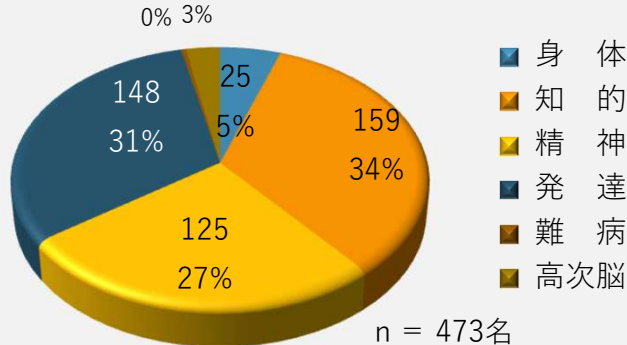
- ◇ 前年度16名より、8名増加。
就労継続支援A型への就職者は減少傾向にあったが、微増している。
- ◇ 一般企業就職者0名だが、就労継続支援A型への就職者はある 就労移行支援事業所は、1事業所だけであった。
- ◇ 札幌市内の就労継続支援A型事業所は、
2021年4月1日 116事業所（総定員2,076名、休止中4事業所）
2022年4月1日 **122事業所**（総定員2,165名、休止中4事業所）
ここ数年は減少が続いていたが、昨年度は増加に転じている。

就労定着支援事業の状況

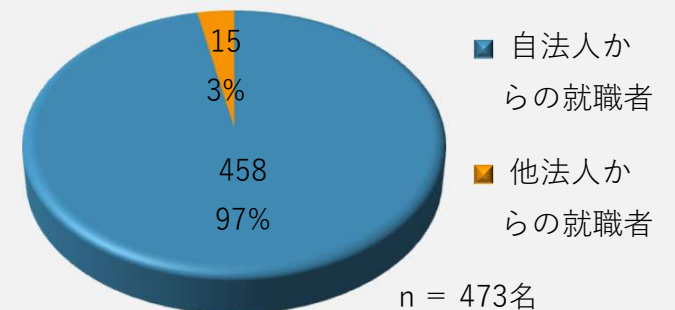
就労定着支援事業の併設実施状況



就労定着支援事業の利用状況①



就労定着支援事業の利用状況②



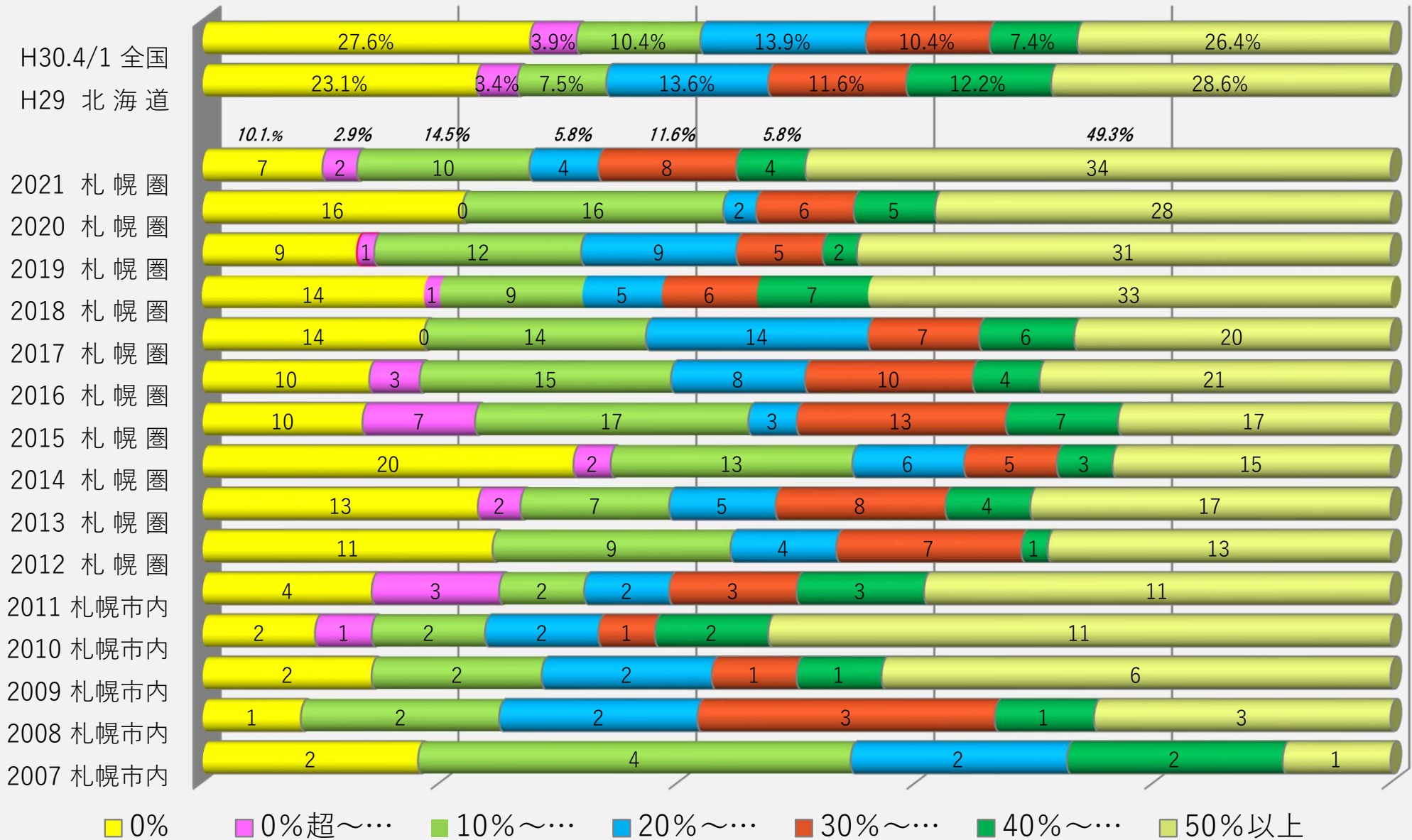
2022年4月1日現在、札幌圏で就労移行支援と**就労定着支援事業**を併設して運営されている事業所は**42事業所**

- ◇ 2022年4月1日時点の**就労定着支援事業利用者 473名**（前年度より21名増）
- ◇ 就労定着支援事業の支援期間終了（就職から3年半）をもって、一律・安易に「ナカポツに支援を引き継ぎたい」との要請が複数あった。厚生労働省通知（令和3年3月30日付 障発0330第1号）「支援終了時点において特段の支援がなくても就労定着が実現できる状態を目指して」いく事業であり「支援終了後の継続的な支援の必要性を精査せず、支援期間が終了したことをもって一律に引き継ぐことが無いよう」再確認いただき、引き続き支援が必要と思われる場合は、役割分担・連携して対応させて頂いている。

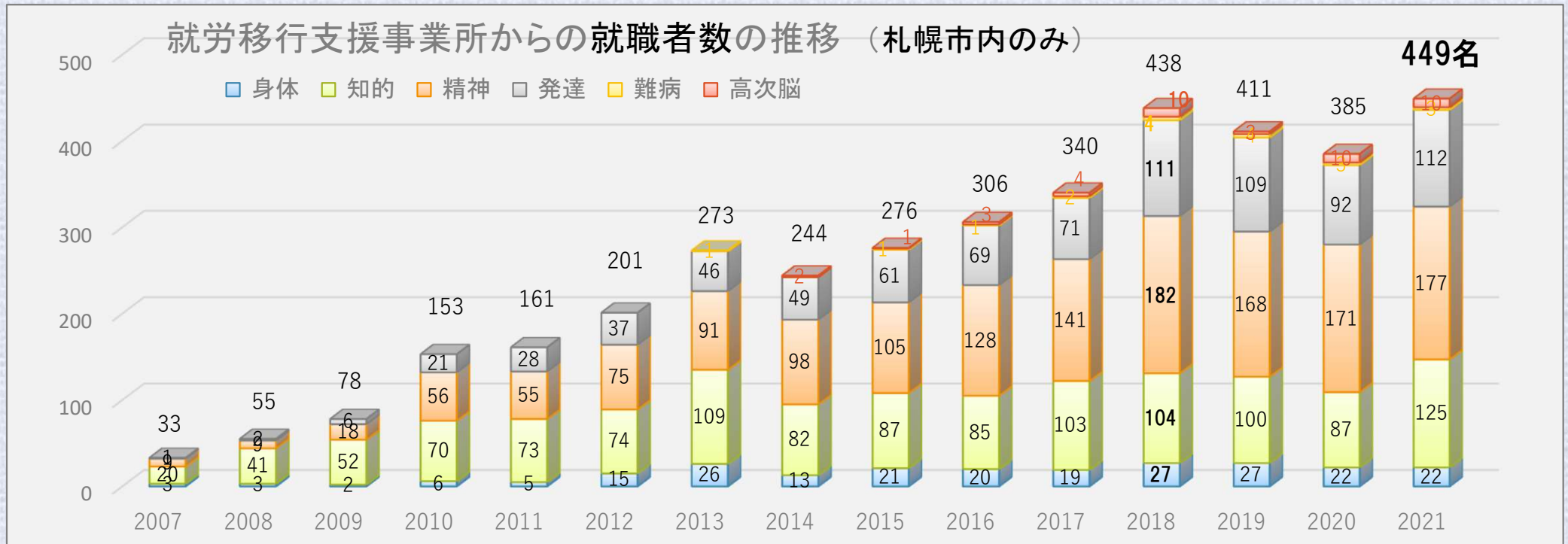
2021年度 札幌圏 就労移行支援事業所の 一般就労移行率

札幌圏 2021年度の一般就労移行率〔就職者数 449名 ÷ 定員 922名〕 = 48.7%。(前年度44.6%)

定員数の50%以上 就職者を送り出す事業所が34事業所(昨年度28)と増加し、全体の49.3%を占めている。
(2021年度中に新規開設された事業所、休止中・調査回答無し の事業所は計上していない)



2021年度 札幌圏就労移行支援事業所調査の集計を終えて（まとめに代えて）



- 2022年4月1日現在、札幌圏の就労移行支援事業所は 90事業所（「従たる」3事業所も含め）
・ 調査回答頂けた80事業所の総定員967名。利用現員922名、定員充足率は95.3%（通所率は加味していない）
- 2021年度中に 札幌圏の就労移行支援事業所から一般企業へ就職された方は 449名
・ コロナ禍の影響を受け、2年度連続で減少していたが、過去最高の就職者数であった。
- 2021年度中に就職した方449名 → 年度末時点での職場定着者 378名。定着率は 84.2%
・ 障が種別定着率は、身体81.8%、知的84.1%、精神85.3%、発達82.1%、難病66.7%、高次脳90.0%
- 就労定着支援事業を自法人で運営している就労移行支援事業所は 42事業所
・ 就労定着支援事業の利用者は473名。内96.8%が自法人事業所からの就職者

札幌圏の就労移行 90事業所のみな様、ご協力ありがとうございました。

